

竹馬会情報紙

はずみ



竹馬会キャラクター
なべムシ君

泥田バレーボール

お疲れ様でした!

第14回泥田バレーボール大会も無事終了することができました。

毎年、田んぼを確保するのが大変になってきました。今年は、高畑さんや周辺方々のご協力でどうにか確保することが出来ました。また、ミニバレーボール協会の方には、審判員の確保にも苦労していただきました。

竹馬会会員も気は若くても年々、年を取っていくのでスタッフも炎天下の中、大変でした。順調なのは参加チームの募集だけです。でも、今年も2チームが、当日棄権したのは残念でした。

テレビニュースで全国放送されて、大阪や鹿児島で見たとという人、東京からの帰りの飛行機の中で、NHKラジオで聞いたという人、などの話を聞きました。また、翌日の新聞などを見たりすると、中津江村フィーバーまではいかなくても、泥田バレーの話題を全国のどこかで見ている人がいるのだな、と思うと、来年もまたやらなければなりませんね。何はともあれ、お疲れ様でした。

ジャスコの宮川店長が飛び入り参加!

ジャスコの店長が飛び入りで参加しました。

ジャスコの従業員チームの応援に来ていた宮川店長が、会場で豊前より参加の元青年団チームから助っ人を求められました。本部席に確認に来た店長に「冗談ですよ」と、その場は、引き取ってもらいました。すると、そのチームの第二試合目の開始直前に責任者が真顔で、店長を探しにきました。

「メンバーが足りないのので困ります。店に電話して来てもらってください」というのです。電話を入れて「出たくなかったら、はつきり断った方がいいですよ」と言うと、なんと「行きます」との返事。そのまま、ジャスコで短パンとTシャツを自分で買って、法被姿で飛んで来たのが前半終了1分前。そのままコートに入り、後半と併せて、7分間のプレーでボールに2〜3回触れただけで泥だらけになりました。

宮川店長の勇気ある行動に感動し、後日、特別賞として川西辰夫氏作の竹の椅子を届けました。



胴上げされるジャスコの宮川店長

人海戦術での地ならし

会場の田んぼも1週間後の9日に人海戦術で地ならしをしました。



会場の田植も無事終了!

15日には無事に田植も終わりました。

大会前の準備から田植まで4週間にわたる土・日の作業、本当にお疲れ様でした。



行事予定

6月・7月の行事予定はありません。
8月には「SAN SUNカーニバル」、「お墓の掃除」
「佐知地区盆踊り大会」などがあります。
詳しくは次号でお知らせします。

田植えが本格的に始まりました、皆さん、頑張ってください!

山口駐在所の佐々木さんが、泥田バレーの一日の出来事をエッセイにしてくれました。泥田バレー開催までの準備から大会運営、後片付けまでのチームワークの良さや日頃の活動ぶりを実にうまく書いてくれています。

当夜の夜、打ち上げが終わって解散したのが、午後9時頃、家に帰ってから、非常に大きな雷が鳴ったのをみなさん覚えていませんか? その時の様子をエッセイの中で、次のように書いています。

『帰宅して、しばらくすると雷鳴とともに大雨になった。あんなに天気良かったのに、不思議だね。窓を震わせるように轟く雷鳴と大粒の雨を「泥田バレーボール大会」のすべての行事の終了を告げる花火のように聞いたのは私だけであろうか?』

みなさんには、あの日の雷がどう聞こえました?



佐々木茂美氏撮影